

～目指す学校～ **生徒が通いたい学校 保護者が通わせたい学校 地域が応援したい学校**

一目指す生徒像—**どんな状況でもたくましく生き抜く生徒**—

一指導方針—**全ては生徒の幸せの為に**—

将来に向けよりよく**社会生活**を送るための知識を育む

【1】<困難な社会を生き抜く生徒の育成>

凡事徹底「当り前のことが当り前にできる」

生徒の育成（社会の状況に応じた凡事）

（学校生活・社会生活の凡事を明確に示し、生徒が身につけられるように、全教職員で指導の徹底を図る）

3つの間を大切に「時間・空間・仲間」

（授業時間、休み時間、様々な活動の時間・友と共に学び、考え、話し合う空間・共に悩み、支え合う仲間）

心を育てる「周りの人を大切にする心」

（支えてくれる周りの人に感謝の気持ちを表し、伝えることができる心と態度）

生活規律の徹底「共通理解・共通実践」

（社会で必要な生活規律の徹底指導（3年間で身につけさせる）
（あいさつ・礼儀・マナー） 家庭・地域と共に

◎学級集団力の向上 **学校生活の基本は学級から**

○生徒の居場所づくり（生徒が安心して自分を伸ばせる場所、クラス全員で目標に向かい取り組める風土）**hyper-QU 活用**

○支えあい・学びあい・高めあえる学級集団づくり
・話し合い・学びあい活動の実践（グループ学習）

○「**不登校対策**」 ○**特別支援教育の充実**（特別支援コーディネーター・不登校支援コーディネーター・特別支援教室専門員・SC・SSW との連携）

・エンカレッジルーム、**サポート学習室**の有効活用
・「**学校生活アンケート**」2か月に1回実施

〈三者・二者面談の定期的実施。1年生全員のSC個別面接〉

教職員で共通理解・個に応じた適切な指導

《 **組織的な学校運営** 》

☆主幹・主任（学年・分掌）を中心とした組織

☆信頼される学校づくり

- ・教職員の輪（和）
- ・地域との輪（和）
- ・家庭との輪（和）

<生徒への基本姿勢>

伸ばす

関わる・褒める・鍛える

～生徒の教育を担うのは教員である～

★教職員の資質向上

《意図的・計画的に人材育成を図る》

【2】◎心の教育の充実

・人権教育・道徳授業の充実・情報モラル教育の徹底
・ボランティア活動の充実（地域の方々との関わり）

○清掃・管理がいきとどいた、きれいな学校
（委託業者・事務主事・美化委員会・生活指導部）

○充実した給食・**食育の推進**
（栄養教諭・委託業者・給食委員会・生活指導部）

《**学力・体力の向上と、自ら進んで学ぶ生徒の育成**》

◎授業改善（主体的・対話的な学習過程の実践）

- ・めあて、目標の提示、振り返りの充実
（発問の工夫・授業展開）
- ・持続可能な社会の創り手を育む教育の実践
（ESD カレンダー作成と実践）
- ・ICTの有効な活用

※授業が変われば生徒が変わる

◎学力の向上（都立高校に全員合格できる学力の育成）

- ・新学習指導要領への対応した授業と評価・評定
- ・「全国・区学力調査」の有効活用
- ・読書科の推進
（学校図書館の充実・各階にミニ図書館の設置）
- ・放課後補習学習、家庭学習の充実
- ・生徒による授業評価の実施（1・2学期末）

◎ **体力の向上（体を動かす喜びを体験させる）**

・スポーツテストの全国平均以上を目指す。
※保健体育授業・運動部活動により体力の向上を目指す。

◎ **学校行事の充実**（生徒が主体的に参加する形態に）

- ・体育祭、合唱コンクール、宿泊行事等の活動で、達成感・帰属意識を体得させ、感動ある行事により「心」を育てる。
- ・**生徒会活動など生徒の自主的な活動の充実**
（スローガンを掲げ、目標をもって取り組ませる。）

◎地域に開かれた学校行事の充実

（地域行事への積極的参加）

◎部活動の充実（全教員顧問・複数顧問制）

・部活動指導員・部活動外部指導員の積極的な導入

◎教職員の働き方改革（教職員同士の助け合い）

- ・スクールサポートスタッフ・**別室指導支援員**
SC・SSW・関係機関との連携